

第17回 議会運営委員会記録

1 日 時 令和4年10月31日(月) 午後3時05分 開会

2 場 所 議会委員会室

3 出席委員 8名

委 員 長	霜 鳥 榮 之	委 員	阿 部 幸 夫 (午後3時21分～)
副 委 員 長	関 根 正 明	〃	村 越 洋 一
委 員	高 田 保 則	〃	天 野 京 子
〃	岩 崎 芳 昭	〃	渡 部 道 宏

4 欠席委員 0名

5 欠 員 0名

6 職務出席者 1名

議 長 佐 藤 栄 一

7 説明員 0名

8 事務局員 2名

事 務 局 長 阿 部 光 洋 庶 務 係 長 霜 鳥 一 貴

9 件 名

- (1) こども議会の進め方などについて
- (2) その他

○委員長（霜鳥榮之） 皆さん、ご苦労様です。ただいまから議会運営委員会を開会いたします。佐藤議長。

○議長（佐藤栄一） お疲れ様です。本日は引き続き、こども議会の運営について、ご協議いただきたいものです。新井中学校からは、質問項目も届きました。各常任委員会並びに議運でご協議いただき、子どもたちの夢と希望が膨らむよう、よろしくご検討のほどお願いします。

(1) こども議会の進め方などについて

① 当日スケジュールと役割分担（案）※修正後

② 質問の割り振りについて

○委員長（霜鳥榮之） それでは、レジメに従いましてきょうの会議を進めさせていただきます。まず、1) こども議会の進め方などについて、最初に、①当日スケジュールと役割分担（案）ですが、修正がありました。その修正に基づいた確認をしたいと思います。資料については、資料1から資料3をご覧ください。まずは、資料1について確認願います。アンダーラインの部分が、先日、10月13日に協議して追加や修正した部分になります。1. スケジュールについては、中学校からの妙高市議会学習計画の9. 当日の動きを参考に、時間を追加したこと。記念撮影は前撮りに変更し、撮影時、議員は議席の後方に左から議席番号順に整列することをスケジュールに反映したことなどが主な変更点となっています。2. 役割分担については、役割に委員名を入れたこと、④傍聴席誘導については傍聴席に番号を付けて指定席とし、入口で席札を配布することなどが主な変更点となっています。次に、資料

2について確認願います。議運メンバーの関根委員と天野委員の配置を変更したこと。発言席にあらかじめ席を5つ用意することなどが主な変更点となっています。資料3については、一般席については、一つ飛ばしで配置していたものを2席座って1席飛ばしとし、22席から30席に変更したものとなります。この点について皆さんのほうで何かございましたら、ご発言をお願いしたいと思います。ちょっと時間をとります。

○天野委員 今回、子どもさんの人数が30名というふうに聞いております。すべての親御さんが傍聴に来るとは限りませんが、学校の先生、また引率する教頭さんか学年主任の先生とかを入れると、30席では足りなくなることはないのでしょうか。

○委員長（霜鳥榮之） これについては、先般、学校へ行って打ち合わせをして参りました。引率の先生は、確か3人と言われております。それでその席をどうしようかっていうことなのですが、この議席の座席とは別枠でもって、席を設けましょうという話で、してきております。先生のほうはどこでいいですよっていうけども、こちらの都合の関係で、後程、それぞれの生徒議員の議席を作った上でどの辺がいいかっていう席を追加したいなど。で、議席ではなくて、座席になりますので、その辺のところを後でもって位置付けたいなどというふうに考えているところです。

○渡部委員 傍聴席を一つずつ開けてるといのはどういう意味合いなのでしょう。

○委員長（霜鳥榮之） はい。記者席のところは一つずつ空けて、一般の傍聴席については、二つの一つあけてと、こういう形でとりました。前回、皆さんに提示したのは、一つおきだったんですが、一つおきで後ろのほうに椅子を設けるよりも、今ここまでの状況で来てるから、二つの席の一とび、2とび1というような形でもって、座席がこういう形になってますからね。二つでもって一つとぶと、これでやるとちょうど納まるし、これでどうかっていうのが、先回の打ち合わせ会議の時の議論でありまして、それでもって初めてちょうどになっているということです。

○渡部委員 これ2人座って1つ空けるといって、コロナのことは考えていないということだと思ふんで。だったら、もっときっちり前から詰めていったほうがいいんじゃないですか。これなぜかという、27番から30番って三列目になっちゃうんですね。だったら、他の列は二列で納まっているので、全部二列で納まるぐらいの形にしてやったほうがいいのかなと思いますし、どんなもんですかね。後ろの27番から30番までの人だけ、ちょっと三列目ってのは。コロナ関係ないんだったら、前のほうから詰めて、真ん中にためてやったほうがいいのかな。逆に空けるのを両サイド開けて真ん中にしてやるとかってのは駄目なんですかね。

○委員長（霜鳥榮之） 右端のところね。この辺についてはどうでしょうかね。これは見てもらうとわかるように、交互になっているんですね、右左ね。これを左側を、要は二列目っていうか、記者席を除いて、その二列目も左寄りにするというのは、それは別段やろうと思えばなんですが。一応コロナの関係を含めてってということではあるんですけども、情勢がこの状況まで来てるから、二つでもって一つおきって、コロナに配慮した位置づけになっていますけども。

○渡部委員 二人並んでいけばコロナは関係ないようになっちゃうけど。

○委員長（霜鳥榮之） その辺はどうでしょうか。

○岩崎委員 特段ここにいる人はしゃべるわけではないので、渡部委員が言われるように、コンパクトにしたほうが、私としてはいいのかなと思いますけどね。そして、この他に先生方が3人いるんですよ。

○委員長（霜鳥榮之） それはそこでなく、先生は議場のほうにいて傍聴席ではないんです。傍聴席の後ろのほうは固定席ですよ。

○議長（佐藤栄一） 傍聴席は全て固定席です。

○委員長（霜鳥榮之） それで席を追加するのではなく、固定席なので、それで全体が納まるからということで。今、言われた意見の中で強いて言えば、17、18、19、20 の、この17を一つ左へ送って、壁ぎわだから、これを一つ送って、ここをばっ点にすることは、私はありかなと判断しますけども。前のほうにということもありますが、一応一番後ろの席も、これも椅子を出してじゃなくて、固定席なんでどうだろうと思うんです。若干休憩します。

休憩 午後3時15分

再開 午後3時17分

○委員長（霜鳥榮之） 休憩を解いて会議を続けます。それでは傍聴席のほうの関係ですけども、見た目でもって右側の二段目っていか三段目っていうんですかね。17番を一つ送って、18、19、20、これを左へ一つずつ送るということで、確認しておきたいというふうに思います。他にございませんか。

○村越委員 進行の関係でちょっと確認なんですけど、資料2の議席とか、執行部のほうの座席の関係で、これマルマル議員とか、名前が書いてあって、その役職書いてあるんですけど、これみんな通常と同じように名前がこう、名札みたいなのが入るんですか。あと、議長はそれを指名するとき、名前を全部言ってしまうという進行になるんでしょうか。確認なんですけど。

○委員長（霜鳥榮之） まず最初に、名前の柱ですね。これは、今ある議席のところは柱あるけども、そうでないところは柱がないので、改めてそれを設備するっていうのはちょっとできない。で、一番後ろは当然のことながら、ここは固定の議席じゃなくて、テーブルを並べて椅子を置くという形でいきますので、それは物はできないと。従って、それとあわせてですね、マルマル議員っていう形があるんですけど、子どもたちの名前を下手にあまり出したいなというのがあるんですよ。で、名簿表を作って、それでもって、対応していきたいと。で、それも、今ここで皆さんと相談なんですけど、一つにはその名簿表そのものを、議長の席において議長がわかるようにしておいて、一般には出さないようにしておこうかと。けども、全体でもってその名簿表を作ったんだしたら、この座席表に合わせて、名前を入れて、皆さんのところだけに配ると。ただ固有名詞入れるっていうのは、ちょっとっていう形でもって、注意しなければならないなど。書き物で出すっていうのはっていう形になりますんで、その辺どうしたものかと。我々がどうしてもその固有名詞が必要なのかどうなのか。この辺のところがあるんですけど、これも皆さんと相談の上だというふうに思います。

○村越委員 固有名詞は必要ないと思うんですけど、議長が指名するとき、どうやって指定するのかなとか、我々のほうも、どんなふうに指名されるのかなと、ちょっと心配したもんですから。

○委員長（霜鳥榮之） はい。ちょっと待ってね。実は皆さんのところへ配ってないんですけども、学校のほうから名簿が来ていて、事務局のほうで、こういう一覧表を作ってくれたんです。議席番号と名前ということで、こういう名簿作っていただきまして、で、これをどういう扱いでやっていくかということをお皆さんと相談かなという位置付けでいたわけです。従ってこの名簿っていうのも、来た名簿をそのまま1番から順に入れていってという位置付けでもって見てるんですけども。で、この名簿については、議長のところには置く。で、子どもたちは、それぞれに名前がわかるわけだから、顔を見れば名前が分かるわけだから。番号さえ一致していればっていうような形でもって、その辺のところ、どうしたものかと。一つの方法としては、この名簿は外に出したくないという、これがあるもんだから、当日だけ皆さんのところに配っておいて、終わったら回収するとか、そんなもんもありかなと思ったりしてるけど、その辺どうしたものかなと。あったほうが、皆さんも、名前がわかったほうがやりやすいっていうのは、気分的な面でもあるかなというふうに思うんですけども。暫時休憩します。

休憩 午後3時22分

再開 午後3時25分

○委員長（霜鳥榮之） 休憩を解いて会議を続けます。議席の氏名、番号については、議長のところは、番号に名前を入れて、届けておくと。で、議長のほうは顔わかっているから、この名前、名簿を見中をもって、きちんと指名をしていただくということを、前段でもってきちんと打合せをして、我々には、その名簿は配らないと。議員のほうには名簿を配らないということで確認してよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（霜鳥榮之） はい。そのように務めさせていただきます。他にございませんか。私のほうから一言、一つお願いします。スケジュールのほうでもって②でもって、先般皆さんと相談させていただきましたように、記念撮影を、この2番目に入れると。先に入れると。で、人の役割分担等の絡みなんですが、それぞれ案内してきたときに、もう即、その子どもたちの場合にはそれぞれの議席に座っていただくということになりますので、そのようにお願いしたいと。それから、議席の一番後ろ、24、25、26、27、28っていう、これは前のほうに移動していただきまして、この場所は、議員が並ぶということになります。従って最初、テーブルと席は、一応置くけども移動してって形になりますので、最初から置かないで、やっていこうかなというふうに思います。ちょっと後ろに下げておいて、ここに、左側から議席順に議員が並んでもらって、写真になるよと。それから議長の大滝さんと岡田さんは、発言席のところに入りますので、この2人については、関根さんから議長席へ、写真撮ったら議長席のほうに案内していただく。それで、高田委員にお願いしたいのは、委員の皆さんが写真撮って、撮り終わったら、この後ろのこのテーブルをちゃんとした席に戻していただいて、自席に戻っていただきたいなど。今、黒く塗りつぶしてるここところ、テーブルと椅子がありまして、ここところ一旦そのテーブルと椅子を後ろに下げておいて、議員がここに並ぶんで、写真撮り終わったらちょっと前に出すような格好になるかと思うんで、後程また議場を見ながらその対応をちょっと、打ち合わせさせていただければというふうに思いますが、その辺のところを、やり繰り返して現場のほうでお願いしたいなというふうに思います。そのほかに何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（霜鳥榮之） じゃ、特段なければそのように進めさせていただきます。なお、この資料1、2、3、トータルでよろしいですか。

〔「よし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（霜鳥榮之） はい。じゃそのように進めさせていただきます。それから役割分担のところ、今言ったような形でお願いしたいと思います。あっ、役割分担のところですね、すべて終わってからのんですが、1の⑧番ですね。意見交換会っていうのがあって、501 会議室に生徒が集まってそこでもって若干の意見交換、反省会っていうのをやりますけども、ここに対しては、議長と議運の正副委員長は、ご苦労さまでしたって顔見せしてして、一言挨拶するだけでもって、反省会意見交換には、加わらないということで、先般学校と確認してきております。はい。そんなことで次いきます。全体の予定、スケジュールの点で、もし学校から何かあったら、またそのときの若干の調整が入るかもしれませんが、そのときはまたよろしくをお願いします。次に、②の質問の割り振りについて協議をしたいと思います。資料については資料4、資料5をご覧ください。中学校から抽出された質問の通告内容については、資料5の通りで、事前に皆さんにお配りした通りです。それぞれの内容を確認いただいているかと思うので、資料4のこども議会一般質問提出状況の表に基づきながら、上から順番に質問を、所管常任委員会へ割り振りしたいと思います。いつもでしたら、譲り合いの精神でもって、これあっちこれこっちっていうんですけど、今回はそうじゃなくて、これもおらとこ、これもおらとこでもって、分捕り合戦の形でもって、ご意見をいただきたいと思いますが、ひとつよろしく願いいたします。暫時休憩します。

休憩 午後3時31分

再開 午後3時31分

○委員長（霜鳥榮之） 休憩を解いて会議を続けます。それでは、資料5をご覧ください。資料5の新井小1・2というところから、順次いきたいと思います。ここでは、1）現在妙高市では、全年齢を対象とした大きなイベントの計画をしていますか。またコロナ禍以前に、そのようなイベントが行われた記録がありますか。2）は、今までイベントの告知はどのように行っていたのでしょうか。オンラインを活用して参加者を募ることも効果的だと思いますが、今後オンラインでのイベント告知などは考えているのでしょうか。この二つあります。それで、資料4に皆さん一覧表を行ってますので、これ突き合わせしながら、ご覧になっていただきたいと思います。ここでは、1の1、1の2というふうに表示しておりますが、ここでもって、所管常任委員会と、市の所管課という形でもって、ここに入れながら、順次いきたいというふうに思います。まず、1の1、2それぞれいかがですか。

○渡部委員 イベントの内容ですよね。どの範囲までをイベントというか、生涯学習みたいなあいうイベントのことをいうのか、それともガス祭りか。イベント全般ですよね、全部だったら企画かなんかですかね。

○関根委員 祭り関係なんですよ。

○村越委員 全年齢というのも引かかるというか、全年齢って言うよね、乳幼児から高齢者までだけだね。

○委員長（霜鳥榮之） はい。じゃあ暫時休憩します。

休憩 午後3時33分

再開 午後3時51分

○委員長（霜鳥榮之） それでは休憩を解いて会議を続けます。それぞれの割り振りの関係についてですが、順次確認をいたします。番号でもって言っちゃいますね。順次6班でもって分かれていますので、まず1班の1、2ともに産業経済委員会。2班の1、2ともに総務委員会。3班の1、2、1は厚生文教委員会、2が産業経済委員会。4班の1、2ともに産業経済委員会。5班の1、2ともに厚生文教委員会。6班の1は総務委員会、2が厚生文教委員会。以上でよろしいでしょうか。

〔「よし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（霜鳥榮之） はい。じゃそのように、よろしく願います。で、それぞれに、委員会ごとに、中身をそれぞれ当局との関係でもって擦り合わせをしながらまとめていただきたいと思います。なお、先ほども触れましたけれども、生徒のほうは、この質問の答弁をいただいてから、再質問を行うと。再質問には、いくつかの質問を想定して作っておいて、それでもって、チェックをしながら、再質問させてもらうように。最初の答弁あってから、その班ごとに若干の打ち合わせをして、再質問を行うと。相談して再質問というのはさっき言いましたように、いくつか用意しておいてね、で、これはいいし、これはいいし、じゃこれやろうというようなパターンになろうかというふうに思いますが、そんなようなことを考えておりますので、委員長のほうも、それぞれに、その辺のところ、ある程度は想定しながら、もし何でしたら、答弁そのものについても、この前も触れましたけれども、委員長副委員長と若干の打ち合わせ。あるいは委員の皆さんと若干の打ち合わせみたいな、ちょっと振り返っての話になりますけれども、その辺のところを含めながら結構かと思しますので、答弁のほうをお願いしたいというふうに思います。

○岩崎委員：質問ですが、各班ごとに時間限られているものだから、答弁のほうは、例えばA4版、シート1枚くらいでいいですかね。そこにあんまりね、質問の回数もあるというんで、あんまりしゃべっちゃうとあれかなと。生徒の再質問もあるんで。

○委員長（霜鳥榮之） おそらく今皆さんの手元にある、これが、最初の質問だと思うんです。それで1班ごとに、時間内でのということで、トータル質問して答弁して、終わってっていう、トータル10分になってきます。従って、これを読み上げて質問して、この質問そのものについても、代表者が登壇して質問すると。で、その他のメンバー

の皆さんは、再質問席に待機していると。そこへ戻ってきてそこでもって、市長答弁、教育長答弁を聞いて、それについてそこでもって、再質問の打ち合わせをちょこちょこっとやる。で、再質問すると。それに対しての答弁は、今度それぞれ委員長からやってもらうっていう形になりますけども、その、直接答弁できるのはやっていただいて、そうでないのはちょっと打合せしてでもですが、そのトータルでもって10分で納まるようにということで、時計設定も10分設定でもってセットしますので、皆さんもそれを見ながら、できるだけ調整してやっていただければと。で、一般的には質問項目があって、答弁に移った時に、10分過ぎてても答弁はやってもらうっていうパターンにはなるんですけども、みんなそれやってくと、かなり時間誘導になっちゃうんでね。だから、その辺のところは、お互いに配慮しながらっていうことで、これも改めてその中学でリハーサルやる時に行って、その辺のところも、現場の合わせの中でもって調整しておければなというふうに思っているところです。従ってそのような状況を見ながら皆さんからも、それなりきの対応をしていただければと思います。ほかに。

○岩崎委員 それはわかりました。それで問題は、開く期日がこの11月の22日でしたかね。ということは、新しい新市長に切り替わる前段ですよ。ということで、新しい市長の提案みたいな形のものは、新しい市長の考え方ってものが、まだわかんない中ではなかなか…。例えば所管課に聞いてもね、答えにくい部分もあるんじゃないかなと。そこはファジーな形にならざるを得ないと思うんですよ。そういう形でよろしいですかね。

○議長（佐藤栄一） 多分ファジーなものになってくと思いますけど、ひとつの面では、議会がこういうふうを考えているということを申し上げればいいんであって、その辺の文言の作り方は、委員長の裁量にお任せしていきたいと。あとで今後、それを使って、12月なり3月議会の一般質問なり、政策提言につなげるものがあれば、使っていただければいい形なので。そういった長い目でちょっと考えていただければと思います。

○村越委員 ちょっと、通常議会の進行を考えると、市長答弁、それから教育長答弁してから、再質問の時間って、ほとんどないわけですよ。ですけど、今回の場合は子どもたちに少し相談するという時間があるんですけど、やっぱり10分っていうと、かなり短いで質問答弁のことを考えると、おそらくみんなで相談してる時間ってほとんどないくらいの感じなんだと思うんですけど、っていうふうに私ら思うんですが。子どもたちにすれば、そこはみんな相談する時間だっていう認識だと、少しそこでやっぱり時間を食っちゃうんじゃないかなっていう気はするんですけど。子どもたちの認識ってどんなふうな感じなんですかね。ほとんど時間ないよって思っているのか、それとも、その辺、どんな感じでしょうか。

○委員長（霜鳥榮之） はい。先日の中では、そんなに時間かけて相談してっていうことじゃなくて、おそらく、答弁もある程度想定しながら、おそらくね、箇条書きでもって再質問、準備すると思うのね。で、想定の中でそうやって準備してって、最初の答弁でもって答弁内容聞く中でもって、これはもういいし、これはもういいし、これはもういいしみたいな形でもって、じゃあといったときに、これと、これを再質問で聞くかとか、これを聞くかかっていう、そういう相談になるんじゃないかなというふうに俺、受けたんだけど、関根さん、それどうだった。

○関根委員 まあ、30秒ぐらいの話のように受け止めていましたけど。いずれにしろ再質問に当たる生徒は、最初に質問した人と違う人が再質問するような形になるんで、これ自分がやるかって話で終わるんじゃないかなと思うんですけどね。いくつか、例えば5つあって、3人いるとすると自分の担当を決めるような、そういう形になると思いますんで。たぶん違う人が再質問するような形だと思います。

○委員長（霜鳥榮之） 中学校でのリハーサルも17日だったかな。やることになってますんで、その時に行って。関根さんと2人で行って、中身を世話焼くっていうことよりも、流れのシステムっていう形と時間との関係の中では、ちょっと打合せをして、現場でもって打ち合わせをしてきたいなど。登壇して戻って、或いはその手を上げてっていうのは、この辺のところはそこでもってちょっと練習してこれればなというくらいのことを考えてますけども。

そんなところでありますが、あと他にどうですか。よろしいですか。

〔「よい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（霜鳥榮之） はい。じゃあそのようにお願いをいたします。次のステップとして、今後、この割り振りを、今の質問項目に合わせて、それぞれにQ&Aを委員会ごとに作っていただきまして、項目そのものについては、所管委員会とも調整しながら、今議長言われたように、これから先のものについては、議会としての考え方も含めたりする中であって、作っていただいて、出していただきたいと。で、その答弁書を、今後、どの時点であって、まとめて、全体の調整をするか。この日程調整が絡んできますけれども、これについては皆さん、どんなものでしょうかっていうのを、いつ頃に設定しましょうかっていうことになるんですが、暫時休憩します。

休憩 午後4時02分

再開 午後4時09分

○委員長（霜鳥榮之） それじゃ休憩を解いて会議を続けます。それぞれ予定が非常に切迫してきております。そんな中で、今割り振りしました内容については、それぞれの常任委員会ごとに当局とのすり合わせを行いながら、委員会であらうという形をとりたいと思います。内容のまとめ、全体の会議については、18日の金曜日、午前10時から議会運営委員会を開いて、このこども議会の内容についてまとめると。で、午後からも引き続き、12月議会の内容に基づいた議運を継続して開くということであって予定したいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（霜鳥榮之） はい。じゃあ、そのように取り計らせていただきますので、よろしくお願ひいたします。ではその他、何かございませんか。

○事務局長（阿部光洋） 各委員会で検討した答弁書は、議運の当日、午前10時に皆さんで持ち寄るのでしょうか。

○委員長（霜鳥榮之） その前に出してもらえばいいんだね。答弁書の提出については、間に合い次第っていう言い方もおかしいので…。

○岩崎委員 17日。前の日までにだせばいいでしょ。17日の12時までにはデータで送ればいいね。

○委員長（霜鳥榮之） それでは各委員会でまとめた答弁書については、17日の正午までに事務局に提出していただくということで確認したいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（霜鳥榮之） はい。そのように取り計らせていただきます。皆さんのところで何か他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（霜鳥榮之） はい。特段ないようでございます。今まで決めていただきました内容に基づいて、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。それではこれにて議会運営委員会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

閉会 午後4時12分